市民賞に輝やく人たち

小笠原さんら初の市民賞

文化の日に表彰

ことしから初めて行なわれました市民賞の授賞者には、このほど三島の小笠原馬之助さんほか四人の方に決まり、菊かおる文化の日（十一月三日）に表彰式が行なわれ、金堂市長から表彰状と表彰たてが贈られました。

この市民賞は、広く一般市民のなかから行政や教育産業、社会福祉労働などの各分野に貢献された功労者や社会のための事業、善行などかくれた篤行者をあらかじめ市民から候補者として推せん願い、調査のうえ、表彰選考委員会において選考し、その答申を得て表彰者を決めることになっています。ことしの推せんは、九月から十月二十日までに、三十三人と一団体の推せんがあり、十月二十六日に開らかれた表彰選考会（山下熊太郎委員長）で選考され決定をみました。

ところで候補者として知事や大臣表彰を授賞されている方の推せんがありましたが、条例や規則によってすでに他から表彰を受けられていることがらについては表彰をしなく、また、今回は名誉市民賞の計画はなかったため、選考外になった方もありました。

ことし推せんされて、表彰の栄に浴さなかった方も、表彰に相当するだけの事績をあげられている方も数多く、選考にあたってかなり苦心し、授賞者を増してはという声もありましたが、執行部から提案のあった五名の線で決定をみました。

三日、午前十時から中央公民館で開らかれた表彰式には、授賞者全員が、晴れやかなそしてうらはずかしげなおもちで出席して行なわれ、金堂市長から『長い間、いろいろな面で活躍され、南国市の発展のため尽された業績は大きなものがあります。こんごとも健康に留意し、ますますお元気で若者たちのご指導をお願いします』とお祝のことばを述べ、一人一人に表彰状と記念の表彰たてを、また推せん者五名に記念品をそれぞれ贈り、つづいて授賞者側を代表して島本さんから、『栄えあるそして初の市民賞の授賞者となりましたことは身にあまることで、これも市民の方々のあたたかいご協力があったればこそです。深く感謝するとともにこんごも市の発展のために微力を捧げてゆきたいと思っています。』とお礼のことばがあって式を終り、そのあと、市長主催の授賞記念パーティーを開らき、関係者も出席して授賞者の苦労ばなしやよもやまばなしにひとときを過ごしました。

市民賞に輝やく人たち

◇一　般◇
小笠原馬之助 ㊺ さん

◇行　政◇
竹内英喜 ㊸ さん

◇教　育◇
島本子子 ㊾ さん

◇産　業◇
島崎茂登 ㊽ さん

◇福祉労働◇
岡林政衛 ㊶ さん

滑走路の通行は
高知空港
許可証が必要

さきのころ高知空港への立ち入り禁止の立札が立てられ、地元民から、これが撤去の申し入れがなされていますが、これは外来者のみだりに場内への立ち入りを禁止したもので、通行許可証を所持している地元民の通行まで禁止したものではありません。

この立札は、過去数回、航空機の離着陸の際、その直前に立ち入るなどの外来者があり、離着陸の態勢をしばしば立ちおくさなければならない、妨害事犯があっていたためです。この行為は、航空法に触れるだけでなく重大な事故に直接むすびつくもので、そのような事故を未然に防ぐために立てられたものです。

許可証のある方は、これを提示し、警備員の指示に従って行動してください。

なお、急患や緊急の場合は、空港事務所へ連絡すれば、通行できます。

市民賞に輝やく人たち

授賞者の市民賞

プロフィール

◇行　政◇

竹内英喜 ㊸ さん

▽明治38年生れ
▽里　改　田△

戦後、満洲から引揚げ、旧三和村の助役、教育長など、香長村の総務課長を歴任、市発足とともに総務課長、昭和三十六年助役に就任、四十年一月辞任するまで、多年地方自治行政にたずさわり貢献した。

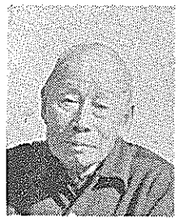
現在、行政相談員として行政に対する苦情処理に当たり、また、地元民の相談役として活躍している。

推せん者　里改田＝土居直基さん

◇一　般◇

小笠原馬之助 ㊺ さん

▽明治16年生れ
▽三　畠△



長兄として弟妹（五人）の教育に専念し、その天分をのばしそれぞれその志を得さしめた。

戦時中に四人の子息を国にささげるなど逆境にめげず遺児四人を養育、明るい健全な家庭を築いた。

社会人として二十年間部落の役員としてよい部落づくりに心がけられた。また人知れず道路の補修を行ない、河川のちり処理などかげの奉仕をつづけ、また、月刊誌を購入、無料で地区内の家庭へ配布するなど、陰徳積善の人。

推せん者　三畠＝北岡博さん

◇教　育◇

島本子子 ㊾ さん

▽明治21年生れ
▽立　田△

戦後、いち早く公民館活動の必要性を力説、二十七年公民館が出来るまで自宅を解放、館長として混迷した世相の中にあって清く、正しく、美しい部落づくりを提唱し、三十九年館長を辞すまでよく部落の和をはかり、地区発展のために意欲的な活動をせられた。

また、二十八年に県下で最初の共同炊事をはじめた。

そのほか日章村教育委員長や民生委員などをつとめ、教育や社会福祉のために寄与した。

推せん者　立田＝泰泉寺祓弘さん

◇産　業◇

島崎茂登 ㊽ さん

△明治28年生れ
▽才　谷△

戦後、青年活動のために部落有林十数を使って植林を奨励した。

山間農家の所得向上をはかるために植林をすすめ、また、いちはやくみかん栽培を始め土地に適した優良品種を見出し、これを広めるなど北部みかんの先駆者として、山間地帯開発のため多大の貢献をした。

そのほか農業技術研修の場として才谷農民館の建築に努力した。

推せん者　才谷＝藤川千万大さん

◇福祉労働◇

岡林政衛 ㊶ さん

▽明治39年生れ
▽廿　枝△

戦後、地域婦人会の組織づくりに尽力され部落公民館建設に当り、その土地を無償で提供された。

現在、長岡地区婦人会長、地区社会福祉協議会副会長、県保護理事などの職にあって、市民の保健衛生や環境衛生面の向上につとめるなど、社会福祉、教育などに活躍されている。

推せん者　下末松＝山崎喜一さん